

令和7年度久喜市中学生国際親善交流事業

姉妹都市であるアメリカ合衆国オレゴン州ローズバーグ市から来日する中学生等のホームステイ先となる家庭を募集します。

受入期間 **7月15日(火)～25日(金)** (11日間)

- 対** 市内に在住する中学1・2年生の家庭
- 定** 15人程度 (超えた場合抽選)
- 費** 受入家庭での衣食住および外出等に係る費用、事業参加に伴うローズバーグ市中学生等の送迎に係る費用等



※詳細については、必ず募集要項をご確認ください。

主催 久喜市・ローズバーグ協会、久喜市、久喜市教育委員会

申問 4月14日(月)～5月1日(休) (当日消印有効) に、市内中学校在籍生徒は直接中学校へ、それ以外は直接または郵送で、市民生活課自治振興係 (〒346-8501 所在地記入不要/内線2623) へ



4月1日から市役所の組織の一部が変わりました

問 企画政策課企画政策係 (内線2282)

- ・しょうぶ会館を人権推進課の所管する施設として位置づけました。
- ・子ども家庭保健課の母子保健係を2係体制にしました。

太字は変更箇所を示しています。

旧組織	新組織
総務部 ↳しょうぶ会館	総務部 ↳ 人権推進課 ↳しょうぶ会館
子ども未来部 ↳子ども家庭保健課 ↳子ども家庭係 ↳母子保健係	子ども未来部 ↳子ども家庭保健課 ↳子ども家庭係 ↳ 母子保健第1係 ↳ 母子保健第2係

※しょうぶ会館の利用時間に変更はありません。
※子ども家庭保健課の配置はこれまでどおり本庁舎1階です。



市内の小・中学校全校の屋外にAEDを設置しました

問 健康医療課地域医療係 (内線3426)

本事業は、個人・団体等からの寄附やふるさと納税によって実現いたしました。皆さまの温かいご支援、ありがとうございました。

市内小・中学校全校の屋外にAED (自動体外式除細動器) を設置しました。児童生徒だけでなく、学校施設利用者や周辺にお住まいの方も、いざという時はどなたでもAEDを使えます。



AEDの設置場所周辺で事故や急病等により、救命処置が必要となった場合には、ぜひご活用ください。設置場所等については市ホームページをご覧ください。



人権擁護委員に委嘱されました



さききのぶよ 佐々木伸世さん (再任)



しんどうりつこ 進藤律子さん (新任)



しのだかずえ 篠田和枝さん (新任)

身近な外来生物の駆除にご協力ください!

キレイでも駆除!



オオキンケイギク (特定外来生物)

繁殖期: 5～7月頃
生育環境: 路傍、河川敷、線路際



ナガミヒナゲシ

繁殖期: 4～5月頃
生育環境: 畑地、路傍、荒地



アメリカオニアザミ

繁殖期: 7～10月頃
生育環境: 畑地、路傍、荒地



ジャンボタニシ

4～10月頃
3～4日に一度産卵
生育環境: 淡水性、水田
※写真はタニシの卵

道路端や河川敷などでキレイな花などが見られますが、繁殖力の強いこれらの外来植物を放置してしまうと、在来種の生育環境を奪ってしまいます。

外来生物の特徴や見分け方、駆除方法などについては環境課へお問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。



問 環境課環境保全・衛生係 (内線375～377)

外来生物被害予防3原則
「入れない! 捨てない! 拡げない!」

特定外来生物等 (植物・昆虫) の情報提供をお願いします。

スマートフォンから行えますので、ぜひご協力ください。

連載 久喜歴史だより (第160回) 昭和初期の文集にみる 菅蒲町の子ども達

郷土の歴史を調べるには、学校の文集を読むことも方法のひとつです。文集『しばぶえ』は菅蒲尋常小学校の5年生が昭和8年(1933)から昭和9年(1934)の間に書いた作文を収めたものです。菅蒲尋常小学校は、現在の久喜市立菅蒲小学校にあたります。明治40年(1907)の第5次小学校令により、義務教育が6年と規定されたので、5年生は10歳から11歳ということになります。では、文集の特徴的な部分を紹介します。

ある作文は、一日おきに小学校を休み、往復2時間かけて菅蒲町から久喜市の北中曽根へ、病気の母親の薬をもらいに行ったことが書かれています。当時は乗合バスなどの公共交通機関が未発達であったことや、経済的な理由から徒歩で目的地に向かっていたことがわかります。

今回は菅蒲尋常小学校の文集を紹介しましたが、当時の日常生活や町の様子を少しでもイメージしていただけたら幸いです。多忙な日々を送る中、子ども達は『しばぶえ』を吹きながら、何を思っていたのでしょうか。

問 郷土資料館 ☎57・1200

文集『しばぶえ』の表紙 (個人蔵)

かわざるを得ず、移動に相当な時間を費やしていました。また、桑畑の刈り取りの様子を書いた作文もあります。桑の葉は蚕の餌になることから、当時、菅蒲町で養蚕が盛んに行われていたことがうかがえます。

ほかに、農繁期に学校を早退して小麦刈りの手伝いをしていたり、幼い弟や妹の子守りや家の掃除を手伝っているなど、大部分の子どもは日常的に家庭での役割を担いながら学校に通っていたことがわかります。

当時の遊びについては、夜間に見沼代用水付近の笹やぶへホタルを取りに行ったり、凧を水に浮かべて競争する遊びを楽しんでいたようです。見沼代用水周辺は、ホタルが生息できるくらい水がきれいであり、米とぎや食器洗いに使えるほどであったといわれています。